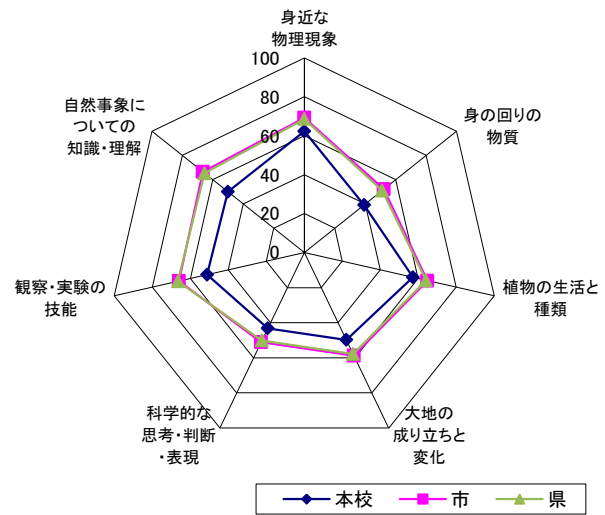


宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	身近な物理現象	62.3	69.2	68.6
	身の回りの物質	39.3	52.2	51.1
	植物の生活と種類	57.3	64.8	64.1
	大地の成り立ちと変化	49.8	58.7	57.8
観点	科学的な思考・判断・表現	43.2	51.1	50.1
	観察・実験の技能	51.1	66.0	66.5
	自然事象についての知識・理解	50.1	66.5	65.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
身近な物理現象	○「反射」という用語の理解や、凸レンズを通る光の進み方についての正答率が80%を越えている。 ●凸レンズによる実像の様子、音の高さと振動数との関係、力と圧力の理解が、正答率で県平均を下回った。	・基本的内容を、実験等を通して実感させる。
身の回りの物質	●すべての問題で、正答率が県平均を下回っている。	・基本的内容の定着を、単元テストや振り返りを通して行う。
植物の生活と種類	○花のつくりや植物の分類についての正答率が、70%を越えている。 ●すべての問題で、正答率が県平均を下回っている。	・身近な植物への興味・関心を持たせるとともに、体験を通して学ばせる。
大地の成り立ちと変化	○地震の規模を表す尺度や揺れの伝わり方などの特徴の理解が、70%を越えている。 ●大地の成り立ちと変化に関する問題の正答率が、県平均を下回っている。	・映像や実物に触れながら、実感を持って理解させる。